

PR

人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン まち・ひとつながる

私も参加しています!



専門学校大原学園 熊本校 押方美桜さん(写真左) 工藤守里さん

コミュニケーション力が身に付き 就職活動にも役立ちそうです!

学校ではボランティア部に所属しています。先生から「春日人おてもやん」の活動について聞き、直感的に「楽しそう!」と思って参加しました。初めて参加した時は、知らない人に声を掛けることに躊躇(ちゅうちゅう)しましたが、少しずつ慣れてきました。熊本や地域のことを改めて知ること

ができ、自然とコミュニケーション力が身に付くので、就職活動や社会人になってからも役立つ経験をさせてもらっています。これからも、卒業まで月1~2回のペースで参加し、外国の方にも対応できるよう語学やジェスチャーも磨いていきたいと思っています!



▲春日小の4年生も参加した、おもてなし活動。観光客への声掛けや駅周辺のゴミ拾いも

外国人観光客への駅構内や観光スポット、交通機関などの案内を指差しのみでできるよう作成した「指差しおもてツール」



外国人観光客への駅構内や観光スポット、交通機関などの案内を指差しのみでできるよう作成した「指差しおもてツール」

「元々同じ保育園に子どもを通わせていた保護者同士。せっかく春日校区に住んでいるなら、地域の宝・おてもやんのことをもっと知り、伝えていきたいと意気投合した」と、代表の西春里美さんらは口をそろえます。



「人の役に立つことはもちろん、自分たちが楽しむことが大切」と代表の西春さん。年2回、研修会も実施

近年の外国人観光客の急増を受け、「熊本弁だけの案内では限界がある」と、英語・中国語・韓国語対応の「指差しおもてツール」も手作り。「言葉は通じなくても、元気の笑顔は万国共通。おてもやん」の陽気な気質と地域に伝わる名所

人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン

まち・ひとつながる

熊本市まちづくりセンター通信 vol.21

熊本市各地域の「まちづくりセンター」の活動報告・イベント情報をお知らせします。



西部まちづくりセンター(西区)

熊本の「陸の玄関口」でおもてなしを続ける「春日人おてもやん」 おてもやん気質と地域の宝を受け継ぎ 観光客や子どもたちへ伝えていく

JR熊本駅に降り立つ観光客へ「こんにちは!何かお困りごとはありませんか?」と明るく声を掛けるグループ。そろいのオレンジ色のジャンパーに身を包んだ女性たちが、「春日人おてもやん」の皆さんです。2011年の九州新幹線開業以来、今も変わらずぬい思いを持ち続け、日々この場所でおもてなしを続けています。

や缶バッジ、せっけんなどを商品化。また、熊本の伝統野菜・春日ほうぼうらを使った焼酎づくりに挑戦しました。

や文化を、観光客だけでなく子どもたちにも伝えていきたい」と事務局長の益田加代子さん。同会の活動は、本年度から春日小学校の総合学習の一環に取り入れられたほか、駅前にある大原学園ボランティア部の生徒たちも活動に参加するようになりました。「おてもやん」という地域の宝が

思いを共有する仲間が増え 変化するニーズにも対応

「おてもやん」という地域の宝が

熊本の陸と海の玄関口がある西区! 地域の皆さんと手を携えて 観光客をお迎えします



西部まちづくりセンター 林慶司さん

1日約1万5000人が利用するJR熊本駅は、2021年に新駅ビルが完成予定で、さらに利用者増が見込まれています。そうした変化にも対応できるように、「春日人おてもやん」の活動を広く伝え、メンバーが増えていこう、まちセンでもサポートしていきます。



「将来は警察官志望。交番で道を尋ねられることもあると思うので、良い経験になっています」と工藤さん

わがまち Topics

市内各校区で行われたさまざまなイベントの様子や、これから行われる催しの情報を、まちセンとの関わりなども交えて紹介します。

参加者募集

3/11日・12日 【城南町初市&ウォーキング大会】

毎年3月11日、12日の2日間、南区城南町隈庄にある商店街(二の町通り)で開催される「初市」には、多くの露店が並びます。この市の起源は定かではありませんが、明治11年8月に二の町で開かれた「帷子(かたびら)市」が前身と考えられています。■場所/二の町通り一帯 ■問い合わせ/城南まちづくりセンター ☎0964(28)2260

3/17日 【熊本駅周辺校区大風あげ大会】

熊本駅周辺3校区(春日・白坪・古町)合同の大風あげ大会。60畳ほどの「六角風」や「連風」、「新聞紙風」などが大空を舞います。当日は先着200人の子どもにキラカイトをプレゼント。■場所/白川河川敷左岸緑地(中央区本山) ■時間/10時~(雨天時は翌日に延期) ■問い合わせ/西部まちづくりセンター ☎096(329)7625 ※公共交通機関でお越しください

3/17日 【しらかわ花灯り】

熊本駅周辺3校区(春日・白坪・古町)合同の花火大会で、対象は3校区に居住する小学生とその保護者300人(先着順・無料)。■場所/白川河川敷左岸緑地(中央区本山) ■時間/18時~20時(雨天時は翌日に延期) ■問い合わせ/西部まちづくりセンター ☎096(329)7625 ※公共交通機関でお越しください

3/17日・18日 【第4回 西区フェスタ】

「KAB駅前フェスタ」「熊本駅春のさくら祭り2018」「くまもと森都心プラザ春まつり」と連携し、西区のうまいもんを集めた西区マルシェや景観自慢フォト展示、防災フェアなどの催しを行います。■場所/熊本駅、くまもと森都心プラザ、白川石塘 ■時間/10時~17時 ■問い合わせ/西区総務企画課 ☎096(329)1142 ※公共交通機関でお越しください

秋津地域って、こんなところ

湧水が地震の際の「命の水」に 中無田熊野座神社

秋津まちセンのすぐ近く、秋津川の右岸にある中無田熊野座神社。嘉島町の浮島熊野座神社を分祀(し)・勧請したもので、約400年前の創建とされています。境内には県の「平成の名水百選」や熊本市の「水遺産」にも登録されている湧水があり、古くから地域の方が飲み水や洗い物に利用してきました。熊本地震で一時水道がストップした際も、多くの住民がこの水を使ったという、まさに地域の「守り神」です。



地域の方々の清掃で、常にきれいに維持されている中無田熊野座神社の名水

秋津まちづくりセンターです!

熊本市内17カ所のまちづくりセンターを、それぞれのまちセンスタッフ(地域担当職員)が紹介します!

地震からの復旧も途上 さらに地域の声に耳を傾けます

所長 小島陽一さん



秋津まちセンは、秋津、若葉、桜木、桜木東の4校区を担当しています。近くに秋津川など豊かな自然が残る秋津・若葉(担当:徳留)に対し、桜木・桜木東(担当:平野)は住宅地やマンションが増え、域外からの転入者が多いのが特徴です。一昨年の熊本地震では、震源地・益城町に隣接する秋津校区が大きな被害を受け、現在も仮設団地で暮らす方々がいまいます。そこでの自治会立ち上げやサロン活動のサポートも、私たちの重要な仕事の一つです。損傷した道路や護岸の工事など、まだまだ地震の爪痕が各所に見られますが、2年目を迎える秋津まちセンでは、さらに地域の皆さんの声(課題、困りごと)を拾い上げていきたいと思っています。



【左】地域担当職員の平野猛二さんと徳留こすえさん【右】秋津まちセンのシンボルともいえる巨大な壁画。「水郷の詩(うた)」というタイトルで、秋津一帯の美しい自然を表現

お問い合わせ

●熊本市地域政策課 ☎096(328)2031(月~金曜・8:30~17:15)、chiikiseisaku@city.kumamoto.lg.jp ●西部まちづくりセンター ☎096(329)7625 ●秋津まちづくりセンター ☎096(368)2200